

<電動車椅子サッカーとは>

1. 「電動車椅子サッカー」ってどんなスポーツ？

「電動車椅子サッカー」は、電動車椅子に乗ってプレーする「足を使わないサッカー」です。

運動機能の制約が大きい比較的重度の身体障がい者でも、電動車椅子の操作さえできれば、自由にプレーできるという画期的なスポーツとして、1982年に大阪で考案されました。



2. 基本的なルール



電動車椅子サッカーは、体育館のバスケットボールのコートで、1チーム4人の選手が電動車椅子に乗ってプレーします。電動車椅子の操作さえできれば、年齢や性別を問わず誰もが楽しめるのが大きな特徴です。選手たちは手・足・顎・口など、それぞれの使用可能な身体部位で電動車椅子を操作し、電動車椅子の前に取り付けたフットガードで直径32.5センチのボールを巧みに操り、パスやシュートなど迫力あるプレーを展開します。

国際化に伴い、各国の競技規則は国際競技規則として統一され(一部日本独自のローカルルールあり)、今まで以上にダイナミックでスピード感溢れるスポーツとなりました。

3. 電動車椅子サッカーの現状



JPFA(一般社団法人 日本電動車椅子サッカー協会)には、全国で33チーム(243名)が登録しています(2016年度)。

チーム数の増加とともに各地域ブロックでの予選大会を経て、日本選手権が行われていましたが、JFAのグラスルーツ宣言に伴い、JIFF(日本障がい者サッカー連盟)が2016年に設立。JPFAも加盟し、JFAの傘下となりました。現在は各都道府県協会が主体となって、電動車椅子サッカーの普及・発展を目指し活動しています。

2017年9月には静岡県で、10km/hカテゴリー(マックス10)、6km/hカテゴリー(パワフル6)の頂点を決める「第1回日本パワーチェアーフットボール選手権大会」が盛大に開催されました。

同年7月にはアメリカで第3回W杯が開催され、日本代表チームは10か国中、5位という成績を収めました。来る2020年には国体のオープン競技種目となり、更なる発展が期待されています。

<長野県電動車椅子サッカー協会 紹介>

長野県電動車椅子サッカー協会では、「FCクラッシャーズ」と「バレッツ」の2チームが所属しており、競技のレベルアップと楽しさを伝える為、強化・普及・振興に力を入れ、積極的な大会参加と大会開催、強化と交流の為のチームを超えた合同練習、身体で楽しさを知ってもらう体験会や、審判資格取得講習会を行なっています。

JFAのグラスルーツ宣言に伴い、2016年度に当協会も組織強化を図り、新体制にてスタートしました。近い将来の法人化へ向けて、活動をしているところです。

会 長	竹村 孝
副会長	坂本 真一
副会長	佐藤 真輝
事務局	上野 寿子
技術委員長	飯島 洸洋
審判委員長	小林 雅夫
広報・普及委員長	本間 一光
競技会委員長	宮島 仁志
医学学術委員長	笠原 洋美
財務委員長	清水 政伸
グラスルーツ委員長	木村 和彦
監 事	三崎 賢治
監 事	児玉 将伸



日本電動車椅子サッカー協会

<http://www.web-jpfa.jp/>

長野県電動車椅子サッカー協会

http://www.geocities.jp/naganoken_powerchair_kyoukai/

FCクラッシャーズサイト

<http://www.geocities.jp/fccrashers/>

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

一緒にサッカーをしましょう！

観戦も大歓迎です。

会場でお待ちしています！！

選手・スタッフ・審判員・

ボランティア募集中！

お気軽にご連絡ください！

【お問い合わせ】

〒393-0093 長野県諏訪郡下諏訪町社花田6525-1

リハビリテーション 作業療法科内 事務局 上野寿子

TEL: 0266-27-5953

E-mail: ot@shinano-iryo.or.jp

※ 共用アドレスのため、件名に「電くる関係」と入れてください。